

## ○令和2年2月7日 総合防災対策特別委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

総合防災対策特別委員会では、今年度のテーマを「地域における防災力の強化について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、四国電力株式会社香川支店 高松電気ビル（高松市）を訪れ、施設や発電機車・サポートカーを視察しました。当支店は、県内における電力安定供給のための現場第一線事業所としてだけでなく、大規模災害時等には、県内の防災拠点としてはもとより、四国内他支店の復旧活動も支援する役割を果たせるよう、耐震性の向上や防災機能の充実が図られており、施設の主な防災機能等について説明を受けた後、質疑を行いました。



次に、丸亀港（丸亀市）を訪れ、南海トラフ地震の被害想定を踏まえて県が策定した「地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき実施している、丸亀港海岸の本港・富士見地区における津波等対策港湾海岸事業の概要について説明を受け、質疑を行いました。



最後に、大谷池（綾川町）を訪れ、南海トラフなどの大規模地震に備えて実施してきた大規模ため池の耐震性点検調査の結果を踏まえ、地震工学の専門家などで組織する「香川県ため池耐震化整備検討委員会」において必要と判断された耐震補強工事の概要について説明を受け、質疑を行いました。

